

一 般 質 問 要 綱

令和5年第5回6月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	6	十二村秀孝	1 B a s e b a l l 5（ベースボールファイブ）の取組について 2017年より普及が始まった「B a s e b a l l 5」は、ボール1つさえあればできるという手軽さと幅広い人が参加しやすいルールにより、国内外問わず急速な広がりをみせています。茨城県日立市の中学校では、B a s e b a l l 5を全学年で体育の授業に取り入れるなど、教育の観点からも今後の普及に期待が高まっております。 そこで、次の3点について伺います。 (1) 市内の小中学校の授業や課外活動において、B a s e b a l l 5に取り組んだ事例はあるのか伺います。 (2) 市内の小中学校の授業や課外活動において、B a s e b a l l 5に取り組む上で課題はあるのか伺います。 (3) B a s e b a l l 5は野球の設備や道具がいらず、老若男女で楽しめるスポーツであることから、生涯スポーツとして取り入れることも考えられますが、市の考えを伺います。 2 省エネ・物価高騰対策について 国は大手電力7社からの家庭向けなどの電気料金の値上げ申請を了承し、東北電力では、1キロワット時当たり平均 25%を超える値上げとなる予定であり、市民生活をより一層圧迫することが予想されます。こうした影響の緩和とカーボンニュートラルの実現を進めていくためにも、市民一人ひとりが節電、省エネに取り組むことが重要であります。 そこで、次の4点について伺います。 (1) 一般家庭の消費電力のうち、各家電の割合について伺います。 (2) 県が令和4年12月補正で創設した省エネ家電購入応援事業の内容と実績について伺います。 (3) 令和4年9月議会において、市民生活の負担軽減につながるエコライフの実現に向け、市民向けの小冊子を作成し、エコライフ活動の普及啓発を進めるとの答弁でありましたが、取組状況について伺います。 (4) 個々の節電、省エネの取組には限界があることから、省エネ性能の高い家電製品や住宅設備機器等の普及拡大を進めるため、市独自の補助制度を創設する考えはないのか伺います。 3 ごみの減量とリサイクル率の向上について 新聞報道によると、令和2年度における本県の資源ごみなどのリサイクルの割合が全国で最も低くなったほか、1人1日当たりのごみの排出量についても全国ワースト2位とのことであります。 そこで、次の3点について伺います。 (1) 本市の1人1日当たりのごみの排出量とリサイクル率の過去3年間の推移について伺います。 (2) 本市の現状と課題をどのように分析しているのか伺います。 (3) ごみの減量とリサイクル率の向上に向け、今後の具体的な進め方について伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
2	20	齋 藤 仁 一	1 オーガニックビレッジへの取組について (1) 現在どのような組織体制によって協議が進められているのか、その協議内容についても伺いたい。また、計画策定までのスケジュール及びその手法について伺いたい。 (2) この取組については、新たな組織による協議を進める必要があると考えるがどうか。特に、新たな公募委員や有機農業実践者及び学識経験者等による協議が必要であると考え、いかがか伺いたい。 (3) 学校給食における有機食材、特に有機米などの使用は、オーガニックビレッジ推進上、必須条件と考えるが、いかがか伺いたい。 (4) 有機農業実習圃場、新規農業者の農業研修の場として、県立耶麻農業高校の校舎及び農場の活用を図るべきと考えるが、いかがか伺いたい。
			2 昨年8月豪雨災害などの災害復旧対応について (1) 未受注工事箇所についてその要因は何か、また、市はどのような対応・対策をしているのか伺いたい。 (2) 未受注箇所で工事断念箇所があれば、その理由と箇所数、地権者とどのような協議をしたのか伺いたい。 (3) 市は「農家の方々に不利益が生じないよう対応を検討している」としているが、具体的な基準は策定したのか伺いたい。 (4) 災害対応にあたる職員の人事はどのようなになったのか。人材育成と事業継続及び事業完成の観点から、市の対応について伺いたい。
			3 2050 カーボンニュートラルの取組について (1) 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）では、カーボンニュートラル実現のための3つの手法（省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入、適正な森林整備などによる二酸化炭素吸収量の増加）が示されているが、その手法ごとの具体的な計画はどうなっているのか、また、この計画策定のための協議会は設置されたのか、その協議内容についても伺いたい。 (2) バイオマス利活用による脱炭素化推進について市の考えを伺いたい。 (3) 適正な森林整備について市の具体的な考えは何か、また新たな手法も検討し推進を図るべきと考えるが、いかがか伺いたい。
3	19	佐 原 正 秀	1 地域を活性化させるまちづくりについて 自治体は、住民がより暮らしやすくするための、また地域内に多くの人を呼び込むためのインフラ整備、住民サービスの拡大に日々取り組んでいかなければなりません。ただ、限られた予算の中でそれらを実行し続けていくには、新たな視点に立った施策が必要になってくるものと考えます。特に、民間事業者への包括業務委託、子育て支援の充実、コロナ禍後の観光振興策といったテーマによる対策が重要と思われれますが、本市の対策についてお尋ねいたします。 (1) 包括業務委託による抜本的改革について

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(2) 子育てに特化した便利な商品券による支援について (3) 観光情報を集約したコロナ禍後の観光振興について 2 住民を守るのに欠かせない防災の強化対策について 災害が起きた際、いかに状況をすばやく把握し、適切な情報を庁内や自治体間、そして住民に共有することが重要となっており、そのためには、情報を速やかに伝達するためのシステム構築が必須となり、万が一に備える体制が求められます。災害や防災に関する情報をより多くの住民へ確実に伝えるため、複数のコミュニケーションを用いて情報伝達の多重化を図ることが重要であり、移動系防災無線システムの整備、災害に備えた情報共有などを刷新し、アップデートしていくことが求められておりますので、それらの取組についてお尋ねいたします。 (1) 緊急時対応の機動力強化対策について (2) 災害備蓄食料の拡充について (3) ドローン活用の人材育成について (4) 時流にあった防災服の対応について (5) 巨大地震や豪雨災害に対する災害廃棄物処理計画策定について 3 多様な働き方を生み出す環境整備について コロナ禍やワークライフバランスの観点から、ビジネスパーソンだけでなく自治体職員にも多様な働き方が求められるようになってきております。そのため、在宅やサテライトオフィスなど場所を選ばずに働ける環境の整備や、長時間労働を是正するための合理化が各自治体で進められております。庁内ニーズに合わせたテレワーク、郵便関連業務の効率化、帳票のデータ化、テレワークシステムの導入などが、今後大きな課題となりますが、本市におけるこれらの対策についてお尋ねいたします。 (1) 書類の封入作業の自動化について (2) OCRによる帳票データ化の対策について (3) テレワーク運用のコスト削減対策について
4	5	山 口 文 章	1 中学校部活動の地域移行について 中学校部活動の地域移行は2022年6月、スポーツ庁での有識者会議で提案された、公立中学校における休日の運動部の部活動を外部に移行する部活動改革の一つです。移行先には地域のスポーツクラブや民間企業、スポーツ少年団などが想定されており、移行先では複数の中学校で集まることが可能となります。 地域移行の目的としては、学校教職員の働き方改革や、歯止めのかからない少子化により生徒数が減少していることから、生徒たちが多様な活動を体験できる機会を得るためなどであり、 今後、地域移行が進められていきますが、様々な課題がありますので、本市の部活動支援や考え方について伺います。 (1) 地域移行の考えに対する市教育委員会の見解について伺います。 (2) 本市の現状について伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			ア 市内中学校の部活動数について伺います。 イ 市内中学校における部活動指導員の有無について伺います。 ウ 複数の中学校での合同部活動の活動実績及び内容について伺います。 エ 地域への移行先の現状について伺います。 オ 地域移行についての把握している課題について伺います。 (3) 中体連等の大会を含めた市の部活動支援及びスポーツ少年団への支援について伺います。 (4) 今後の地域移行の進め方について伺います。 2 公共施設の現状と課題について 3月定例会で、公共施設のネーミングライツについて一般質問しました。当局の回答は、前向きな回答ではありませんでした。残念ですが、本市の公共施設の課題は多くあるのが現状です。市民の皆様がきれいな建物で平等に安心して利用してもらえることが、公共サービスの一つと思っております。 そこで、本市の公共施設の現状と課題について、また今後の取組について伺います。 (1) 公共施設（建物）の数及び種類について伺います。 (2) 公共施設（建物）の維持管理の現状と問題点及び老朽化対策について伺います。 (3) 今後の公共施設の総合的な管理体制について伺います。 (4) 公共施設（建物）の使用者（団体など）の優先順位について伺います。 3 しだれ桜観光について 4月7日から喜多方さくらまつりが開催され、多くの観光客が本市へ足を運んでくれました。今では、本市の日中線しだれ桜並木が国内・国外でも知名度が高くなっています。 そこで、何点か伺います。 (1) 今年の日中線しだれ桜並木の入り込み数と、うち外国人観光客数について伺います。 (2) 日中線しだれ桜並木への誘導案内看板の設置について、現状を伺います。
5	7	遠 藤 吉 正	1 観光施策について 観光は総合産業であり、コロナ禍後の地域再生そして少子高齢化等の多くの課題を抱える本市においては、交流人口の拡大を見据え、観光施策はこれまで以上に重点事業として取り組むべきとの考えから伺う。 (1) 今年度のさくらまつりの検証について ア 今年度のさくらまつりの経済効果等について伺う。また、花の早期開花による影響について伺う。 イ 期間中、地域振興を図るため、関係団体との連携はどのように図ったのか伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(2) 本市の観光施策の課題である滞在時間の延長及び宿泊について ア 滞在時間の延長については、どのような施策を具体的に講じられたのか伺う。 イ 昨年度、熱塩温泉の宿泊施設が休業したがこの影響は。また、観光施策及び総合計画の見直しが必要と考えるが、見解を伺う。 2 福祉施策について 本市においては、今後さらに高齢化率が高まるとともに少子化が加速する中で、介護や子育て施策については待ったなしの多くの課題があり、その対策は急務であるとの考えから伺う。 (1) 介護施策について ア 本市における介護施設等への入所者の待機状況の実態について、市としてどのように捉えているのか伺う。また、対策についても伺う。 イ 老老介護の実態について、市としてはどのように捉えているのか。また、どのような対策を講じているのか伺う。 ウ 令和6年度からの第9期介護保険事業計画作成の進捗状況は、また現状の課題についてどのように反映させるのか伺う。 (2) 保育施策について ア 予想を超える少子化により、民間の保育園及び幼稚園は厳しい運営状況にあるが、市としてどのように捉えているのか。また、今後どのように子育て計画に反映させていくのか伺う。 イ 国は、保育園等の配置基準の見直しを検討しているが、現在でも本市においては保育士不足が実態である。このような状況をどのように捉え、施策が具体化された場合、本市ではどのような対策を図るか伺う。
6	13	後 藤 誠 司	1 予約型乗合交通について 高郷町の地域公共交通については、路線バスの荻野・坂下線が利用者数の減少や市負担もあり、令和3年9月末に廃止され、予約型乗合交通の揚津コース、磐見コースに組み込まれることとなりました。 そこで、予約型乗合交通について以下の点を伺います。 (1) 令和2年度から令和4年度までの予約型乗合交通運行エリア・コース別利用人数を伺います。 (2) 令和3年度及び令和4年度の高郷エリア揚津コース、磐見コースの地域内利用人数と会津坂下町までの利用人数を伺います。 (3) 利用者数増加策について伺います。 ア 運行便数について イ 利用予約について ウ 指定乗降場所について エ 周知について (4) 令和3年度及び令和4年度の高齢者おでかけ助成事業での助成券交付人数について、合併前の旧市町村ごとに伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			2 山都・高郷単独浄水場及び給水施設について (1) 山都・高郷単独浄水場、給水施設の箇所と、それぞれの給水人口を伺います。 (2) 山都・高郷単独浄水場と給水施設の管理と経理について伺います。 (3) 高郷町大芦給水施設では、給水配管に緑色の付着物があり、管がもろくなるという地区民の声があるが、いかがお考えか伺います。
7	9	小 島 雄 一	1 災害対策について 昨年8月の豪雨災害については、これまでの定例会において多くの議員から議論されてきました。そのうち、幾つかの重要な点において、外部の専門家を中心とした検討委員会において検証するということであったが、本年も梅雨を迎える時期となり、いつまでも待てない心情である。そこで伺う。 (1) 検証委員会の結論の取りまとめが遅れている原因は何か。また、取りまとめはいつになるか伺う。 (2) 災害対策本部立ち上げの判断、連絡の体制、日中ダムの運用、塩川町の内水氾濫対策、高齢者の避難対策等を伺う。 (3) 境見川の整備の予定を伺う。 (4) 今後の住民に対する広報連絡の計画を伺う。 2 地域計画の策定について 改正された農業経営基盤強化促進法等により、法定化された地域計画について伺う。 (1) 進捗状況、特に農家の意向調査はどのようにするのか伺う。 (2) 担い手を中心とする「農業を担う者」の要件を伺う。 (3) 相当数の担い手の確保が必要と思われるが、方策はあるのか伺う。 (4) 目標地区に耕作放棄地や荒廃農地は含めるのか伺う。 (5) 2年後の決定後の変更は認められるのか。また、定期的な見直しはするのか伺う。 (6) 集落ごとに代表者を決めるとあるが、相当量の事務作業が予想される。費用弁償や手当等はあるのか伺う。
8	12	渡 部 一 樹	1 財源確保について (1) 税収を上げるための効果的な事業は何か伺いたい。 (2) ふるさと納税ディスプレイ広告の総括と今後の取組について、見解を伺いたい。 (3) 塩川都市計画事業駅西土地区画整理事業の費用対効果について伺いたい。 2 物価高騰対策について (1) 本市の物価高騰対策に係る基本的な考え方について伺いたい。 (2) 法人・個人問わず厳しい状況が続いている。財源は限られているが、今回の6月補正予算の対応では特に事業者支援が不足している。今後の取組方針について伺いたい。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(3) 国・県への強力な要請が必要と考えるが、見解を伺いたい。 3 メールの誤送信について (1) 5月7日発生の火災時におけるメールの誤送信の原因は何か伺いたい。さらに、再発防止策についても伺いたい。 (2) お詫びのメールについても緊急速報メール（エリアメール）であった。今回のような場合においては、市長名でのお詫びが必要であったと考えるが、見解を伺いたい。 4 動物愛護について (1) 県が主体となって取り組んでいるものと認識しているが、本市における課題は何か、見解を伺いたい。 (2) 市民や飼い主の方への周知が行き届いていないとみられる事案が発生している。まずは、市においてより積極的な広報・周知事業に取り組む必要があると考えるが、見解を伺いたい。 (3) ボランティア等民間団体との連携協働の状況はいかがか伺いたい。 (4) 災害時におけるペット連れ避難者を受け入れる体制整備の現状について伺いたい。
9	1	渡 部 忠 寛	1 命を守る看護・介護職の支援制度拡充について 医療・福祉分野における看護師・介護職員の人員不足は、何年も前から全国的に慢性的な社会的問題として取り沙汰されています。喜多方市も然りです。今、日本全体で介護を必要とする高齢者が増え続けていく一方で、介護を担う若者が減っていくという悪循環に陥っています。近年、喜多方准看護高等専修学校の学生数が低迷しており、資格を取得したい医療・介護従事者が、時間的制約や自己資金不足という問題があり断念するといった声も聞いております。 現在、本市では医師・看護師確保事業支援補助金制度がありますが、同補助の増額及び介護学生に対する補助金制度の創設を検討してほしい。有資格者が増えれば、医療・介護分野の質の向上に繋がり、市民がより安心して医療・介護サービスを受けられるものと考えます。 そこで、次の2点について伺います。 (1) 直近3年間（令和2年度から令和4年度まで）の喜多方准看護高等専修学校の卒業人数と学生確保のPR方法について伺います。 (2) 支援補助金制度の増額、介護学生への補助金創設の検討について 2 医療・介護と子供を守る職業の処遇改善について 市民や子供たちを守る医療・介護・幼稚園、保育従事者は、世間では人手不足のわりに給与が低いと言われていています。特に給与の低さに関しては、介護福祉士の推定平均年収は330万円とされており、全業種の平均年収である440万円と比べると大きな開きがあります。最低の年収では190万円という数字もでており、生活していくことが厳しいような給与で働いている介護福祉士も存在します。国の基準上、診療・介護報酬等が決まっており、従事者の給与アップには限界があります。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			また、物価高騰の波は施設の維持管理に必要な光熱費にも多大な影響を及ぼしており、職員給与のベースアップもままならないのが現状と聞いております。医療・福祉・保育等の従事者は、処遇条件の良い職場（他市町村など）へ人材が流出してしまい、今後、本市の医療・福祉・保育等のサービス低下を招いてしまうことが懸念されます。 そこで、市独自の処遇改善補助金の創設を図り、前記職種の処遇の向上を検討していただくことを強く望みます。つまりは、従事者の人材定住（人材流入）及び人口減抑制の一助になるものと考えます。 そこで、次の2点について伺います。 (1) 前記従事者の平均年収（全国との比較）と処遇改善補助金の検討について (2) 直近3年分の医療・介護・保育等施設における光熱費の推移と市の考え（対応策）について 3 商業・観光に関わる提案と市の展望について 長期にわたるコロナ禍で人と人の交わりが減少し国民の意識が大きく変化してきた昨今、市内の商業事業者と観光事業者は今まで以上に様々な工夫を凝らしながら誘客並びに事業展開を行っています。 5月8日より5類相当となった新型コロナウイルスですが、影響を与え続けたコロナ禍の波は個々の営業努力だけでは押し返せるものではなく、官民一体となってこの局面を少しでも良い方向へ進んでいかなくてはならないでしょう。 例えば、市と民間事業者が双方にアイデアを出し合い、関連する企業や事業所が繋がる多くのパッケージツアーを創設してはいかがでしょうか。専門性の高いコンサルタントを誘致し、関係者で多くのディスカッションをしながら「商観光喜多方モデル（仮称）」としてかじ取りしてはいかがでしょうか。 さらには、本市で実績のあるイベントは人が多く集まります。経済効果も高いと推測できます。より大きい成果が見込めるため、補助金をさらに拡充し、収益に応じて市に還元するようなシステムもよいと思われます。メディアやSNSで取り扱われることが増えますし、地域が活性化し喜多方市の魅力度アップが図れ、将来的に子供たちが住み続けたい、帰ってきたい街へ変革する足掛かりとなるのではないのでしょうか。 他にも手法は色々あるかと思いますが、このような取組は交流人口・定住人口が増える呼び水として次へステップジャンプしていくために、今ここで市の足腰を強くする必要があると考えます。 そこで、次の4点について伺います。 (1) パッケージツアーの創設について (2) 専門性の高いコンサルタントの誘致について (3) イベントへの補助金を拡充し、収益に応じて市へ還元するようなシステムについて (4) 今後の商業・観光振興に関わる展望について

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
10	4	高 畑 孝 一	1 自治基本条例について (1) 現在の条例は、基本的事項が中心となっています。条例が作られて6年が経過しており、第2段階に入っていると考えます。 少子・高齢化はより一層進み、過疎化も進行し、財政も厳しい状況です。市民の力を結集することが求められています。条例を豊富化・具体化して、市民が関わるまちづくりが必要と考えます。市長の考えをお伺いします。 2 豊かな山林の再生に向けて (1) 森林経営管理制度による取組の現状について伺います。 (2) 林業で自立経営のできる就労支援について伺います。
11	3	坂内まゆみ	1 A I オンデマンド交通「のるーと喜多方（みんべえ号）」について (1) 利用者への周知方法について ア 昨年10月より運行開始し、今年4月からエリアが拡大されましたが、利用者に対してはどのような方法で周知をしているのか伺います。 イ 登下校で利用している児童生徒の保護者へは、教育委員会を通して文書で周知されましたが、文書だけでは不十分だったと思いますが、見解を伺います。 (2) 予約方法について ア アプリでの予約が難しい高齢者の場合は、受付センターへ電話で予約するため、電話がつながりにくい。今後どのように解決していくのか、見解を伺います。 イ アプリの使い方を学べる講習会を実施していると聞きましたが、これまでの実績とその成果をお示しいただきたい。また、地域ごとにアプリの使い方を熟知する核となる人物を育てるべきと考えますが、見解を伺います。 ウ 現在のアプリは、予約変更ができないなど、不便な点が多いと感じます。他市ではLINEを使って簡単に予約できるようになっているが、導入しないのか、見解を伺います。 (3) のるーと喜多方（スクール）について ア のるーとが始まる前までは、下校時の予約型乗合交通みんべえ号（岩月コース）が14時45分と16時20分の2便ありました。現在は16時20分のみとなっています。変更する過程で、利用する児童生徒の保護者への聞き取りをしたのか伺います。 イ 低学年から中学年は、14時45分の便が下校時間に合い、16時20分は高学年に合わせた時間であります。のるーとの予約ではなく、確実にその時間に利用できる予約型乗合交通みんべえ号（岩月コース）14時45分を復活してほしいとの声を聞いていますが、見解を伺います。 (4) 運行事業者への指導について 安全管理や対応について指導されているのか、指導後の調査は徹底しているのか伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
12	8	菊地とも子	1 観光振興について (1) 喜多方さくらまつりについて ア さくらまつりの開催期間について イ 日中線しだれ桜の入り込み数について ウ さくらまつりの経済効果について エ 日中線しだれ桜循環バスについて (2) 協力金について (3) 観光PRについて 2 誰一人取り残さない社会の構築について (1) 視覚障がい者への支援について (2) 透析患者への支援について (3) 障がい者の医療機関受診時の窓口支払いのワンストップについて (4) 带状疱疹ワクチン接種の支援について (5) 7119・8000の周知について (6) 児童クラブの支援について 3 中期財政計画について (1) 健全な財政運営について
13	21	山口和男	1 新型コロナウイルス感染症について (1) 3年余りの新型コロナウイルス感染症対応の総括を伺う。 (2) 次の第9波に備え、新しいウイルスは必ずやってくることを見据え、その対応のためには国に何を要請すべきと考えるか伺う。 また、市で何ができるのかを考え、今から準備をしていくことが大事だと考えるが、市の考え方を伺う。 2 市民の生活を守る施策について 県の2023年当初予算では360億円を生活者や事業者、農家の支援に充てると言われるが、本市の施策と照らし合わせた場合、原油高、諸物価高騰から市民の生活、暮らしを守る具体的な施策とそれら施策に係る予算額を伺う。 3 喜多方市医師確保支援事業について (1) 市のホームページに掲載されている喜多方市医師確保支援事業の概要という資料に、対象者の要件として「(2) 病院（入院させるための施設を有する診療所を含む）に勤務する者」とあるが、この意味を具体的に伺う。 (2) 補助金申請に係る提出書類の中で、市内の医療機関に雇用され常勤医師であることが分かる書類とあり、上記対象者の要件(2)とこの提出書類は医師の分類に違和感を覚えるがいかがか、伺う。 4 旧喜多方東高校跡地の有効活用具体化のスケジュールについて (1) 5月12日に各部署に指示を出し、意見や提案を5月29日まで取りまとめるとのことであるが、具体的な内容を伺う。 (2) 市民の考えや具体的提案はどこで議論になったのか、その意見が反映されているのか伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
14	2	田 中 修 身	1 「非核平和のまち宣言」に関連して (1) 原水爆禁止日本協議会からの「G7広島サミット開催にあたっての日本政府への要請署名」について、賛同の可否とその理由について伺います。 (2) 広島と長崎に原爆が投下された8月6日と9日、終戦記念日の8月15日に平和を祈念して、FM防災ラジオでアナウンスとサイレンを鳴らしてはどうでしょうか、伺います。 2 小中学校の統廃合問題について (1) 小中学校の統廃合問題に関して、市長は常々「コンクリートされたものではない」と発言しています。これは「実施計画（案）」について述べたものと理解していますが、「統廃合計画」そのものを白紙に戻す考えはないのでしょうか。市長の考えを伺います。 (2) 高郷地区に引き続き、熊倉町区長会からも申し入れがあったと聞き及んでいます。その申し入れの内容とそれに対する回答を伺います。 3 学校配当予算の増額について (1) 昨年から物価が高騰し、学校で使用する消耗品（コピー用紙、印刷用インクなど）も例外ではありません。学校現場からは「授業で使用するサッカーボールなども買えない」という声が上がっています。現場の状況を把握していますか、伺います。 (2) 消耗品費の増額を求めます。当面せめて平成30年度のレベルまで引き上げるべきだと思いますが、考えを伺います。 (3) 管理経費・消耗品費の配当について、均等割が小学校と中学校で約10万円の差があるのはおかしいと考えます。改善を求めますが、市の考えを伺います。 (4) 引率教員に係る修学旅行取扱手数料が0円、施設入館料等が1/2の配当となっています。これでは、自己負担が生じてしまい問題です。改善を求めますが、市の考えを伺います。 4 学校給食費の無償化について (1) 現在は、半額の補助を実施していますが、これを全額補助にし無償化する考えはありませんか、伺います。 (2) 本来であれば、学校給食費の無償化については、国や県の責任で実施されるものであると考えます。国や県に強力に働きかけることを求めますが、市長の考えを伺います。 5 塩川小学校児童の通学時の安全確保について 御殿場地区の児童が小学校へ通学する際、諏訪町通りを通っています。諏訪町通りは道幅も狭く、通勤時間帯ともなると自動車の往来も多く、保護者からは心配の声が上がっています。 そこで、早急にできる方策としてグリーンベルトを設置してはどうでしょうか、伺います。
15	10	矢 吹 哲 哉	1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 5類移行で対策はどう変わったのか

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			ア 基本的な対策として、5類移行で何が変わったのか伺う。 イ 本市での対策、対応は、何がどう変わったのか伺う。 ウ 小中学校、こども園、児童クラブでの対策について伺う。 (2) 感染動向の把握が簡略化されたため、感染が広がらないのか、市独自の対策が必要と考える。見解を伺う。 (3) 検査や医療費負担費用が自己負担になるが受診が遅れないか、市で補助が必要と考える。見解を伺う。 2 物価高騰対策について (1) 昨年からの物価高騰の影響（家計や事業者等の経営）についての認識について伺う。 ア 家計への影響について イ 事業者、農家への影響について (2) 市としての対策について ア 市民生活、家計への対策について イ 事業者、農家経営対策について 3 市民が希望の持てる喜多方市の展望の再構築について (1) コロナ禍、物価高騰の下で、市民も経営者も農家の皆さんも生活への不安、経営への不安が増大している。 生活の安定、持続可能な喜多方市の展望、方向を再構築すべきと考えるが、市長の見解を伺う。 ア 市長の基本的認識について イ 喜多方市の医療、公衆衛生（保健所）の充実について ウ 地域経済の在り方、地産地消の循環型地域経済づくりについて (2) 市のまちづくり、公共事業と公共施設の在り方について伺う。 ア 旧喜多方商業高校、旧喜多方東高校、耶麻農業高校跡地の利活用についての市の姿勢及び考えについて イ 複合施設完成後の厚生会館、図書館の利活用についての市の姿勢及び考えについて ウ ひとづくり・交流拠点複合施設整備事業 図書館等建設・管理・運営基本計画の見直しが必要と考える。見解を伺う。 (3) 国・県にしっかり主張できる市政について伺う。
16	11	上野利一郎	1 観光施策について 本市における観光施策の中で、以下の点について伺います。 (1) 熱塩加納地区における観光資源の利用実績と整備について ア 三ノ倉スキー場の過去4か年の利用実績について伺います。 イ 今回のリフト修繕も含めた、今後の改修予定や整備計画について伺います。 ウ ひめさゆり群生地区の整備実績と今後の整備計画について伺います。 2 移住・定住施策について 若者の移住・定住に結びつけるための事業の中で、以下の2点について伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(1) 雇用の創出について ア 令和4年度の喜多方綾金工業団地に係る企業誘致活動の内容と実績について伺います。 イ 令和4年度のサテライトオフィス整備事業の実績について伺います。 (2) 移住者支援に係る事業の過去3か年の実績について ア 移住者住宅取得支援事業について伺います。 イ 多世代同居住宅取得支援事業について伺います。 ウ 奨学金償還支援事業について伺います。 エ 移住支援事業について伺います。 オ 移住相談の実績、定住コンシェルジュの活動内容について伺います。 3 予約型乗合交通について 本市では、令和4年10月から一部の運行エリアでA I（人工知能）を活用したオンデマンド交通の運行が開始された。アプリや電話によりいつでも予約が可能となり、運行エリア内を乗り継ぎなしで目的地への移動を可能とする新たな試みである。 そこで、以下の点について伺います。 (1) 予約型乗合交通の運行について ア A I オンデマンド交通実証運行エリアにおける運行実績と、令和3年度との比較について伺います。 イ 今後のエリア拡大にあたっての課題について伺います。
17	17	伊 藤 弘 明	1 今後の都市計画の在り方について (1) かつて都市計画は喜多方市の政策の中心にあり、スタッフも十分に揃っていた。現在は、都市マスタープランを策定したり、用途地域の変更を行ってきた経験のある職員が極めて少なくなっている。また、用地交渉を経験したことのある職員もほとんどいなくなってしまった。今後の都市計画を考えた場合、人材の育成が喫緊の課題ではないか、市の考え方について伺う。 (2) 本市の市街地において、人口減による空洞化が著しい地区が見受けられるが、そのような地区について、今後の市の考え方について伺う。
18	18	渡 部 勇 一	1 旧県立喜多方東高校跡地利用について (1) 県との跡地払い下げに関する話し合いの進捗状況はどのようなになっているのか。 (2) 跡地利用計画策定のための庁内体制と取組手法はどのようにするのか。 2 総合支所地域の発展・活性化について (1) 令和5年度地域発展推進事業について ア 各地域の発展の目標は何か。 イ 目標達成時の地域の姿はどのようなものか。 ウ 目標は地域住民との合意形成がなされたものか。また、合意形

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			成を図るための手段が必要と思うが、どうか。
			3 喜多方市伝統芸能保存継承について (1) 市内の市及び国・県指定の無形民俗文化財の数と現状はどのようなのか。 (2) 保存継承の考え方とその対策は何か。